

海の生き物と マイクロプラスチックの脅威

取っても取っても減らないゴミ

問題は**海洋生物の生態系の破壊**です。その正体は、魚類、甲殻類、貝類やカモメといった海鳥、アザラシなどの海洋哺乳類が海水に混ざったマイクロプラスチックを誤嚥してしまうこと。マイクロプラスチックは消化に適しないため、消化不良や胃潰瘍などを引き起こし、海洋生物を死に至らしめるのです。

今現在、博多湾に落ちているマイクロプラスチック(その他ゴミ)を集めるという取り組みをしています！



-自分たちにできること-

- ・自分以外のポイ捨てもゼロにする
- ・海にゴミを捨てたり、プラスチックを増やさない。
など

-結論・まとめ-

海にゴミをポイ捨てすることが原因で海の生き物に害を与えたりしているということが分かったので、まずは自分たちができることから始める！

-プラスチックと海の生き物-

プラスチックによる海洋汚染は深刻な問題です。一説によると、2050年には海に存在するプラスチック量が、魚の数を超えるとまで言われています。プラスチック袋などに動物が絡まることや、中でも誤食については、動物の胃から大量のプラスチックが出てくる衝撃的なものです。

